

2024年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
芸術	音楽Ⅰ	2	音Ⅰ 702	教育芸術社	高校生の音楽1

目標 【学習指導要領】	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるようにする。 (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことが出来るようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】	さまざまなジャンルの音楽を鑑賞することで、知識を深めるだけでなく感性を育て、歴史的背景を学ぶことでさらに広く深く理解する。 言語の特性と詩や音楽に込められた作者のメッセージを感じ取りながら、様々な言語による表現を行う。
評価の観点	【知識・技能】音楽的な見方、考え方を持つ為に基本的な知識、歴史等を学び、自身で創意工夫して音楽表現をする為に必要な技術を身につけたか。 【思考・判断・表現】学んだことをもとに自身の音楽表現に生かし、また美しさを味わい楽しみ、さらに表現力を深めていくことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】身近な音楽ジャンルだけでなく幅広い音楽文化に親しみ、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育て、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく意欲が見られたか。

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
前期 (後期)	4月 (10月)	歌唱	日本歌曲を取り上げ、歌詞の内容を把握し、言葉の特性と楽曲の背景を理解し感性を深める。	第1回	4月 (10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	5月 (11月)	西洋音楽史	古代～バロック時代の流れを追い、代表的な作曲家、作品を聴きながら音楽の特徴や歴史背景を学ぶ。	第2回	スクーリング 5月～7月 (11月～12月)	西洋音楽の始まりから楽器の発達とともにどのようなように音楽が発展していったかを考察する。	1	行動観察 課題プリント
	5月 (11月)	西洋音楽史	古典派～近現代の音楽史の流れを追い、代表的な作曲家、作品を聴きながら音楽の特徴や歴史背景を学ぶ。	第3回		誰もが耳にしたことのある作品を中心に取上げ、時代背景とともに作曲家についても学ぶ。	1	
	6月 (11月)	言葉と音楽	外国歌曲を鑑賞し、言葉の意味を理解し歌唱する。	第4回		ドイツ、イタリア、フランス歌曲を聴き比べ言語による印象の違いや、曲想の違い等理解し実際に歌唱する。	1	行動観察 課題プリント
	6月 (12月)	楽典	西洋音楽の楽典の基礎を学び、理解する。	第5回	6月 (12月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書
	7月 (12月)	日本の伝統音楽	雅楽や民謡、和楽器等を取り上げ、日本の音楽文化と生活や社会とのかかわりを考える。	第6回	スクーリング 5月～7月 (11月～12月)	雅楽を視聴し、どのような楽器が使われているか、また音の響きの違いを感じ取る。	1	行動観察 課題プリント
	9月 (1月)	単位認定試験						考查
					面接指導(単位時間) 合計		4	